



「自主性の3分間」

校長 西條 正人

「叱ってもなかなか言うことを聞かない」「声のかけ方が分からない」—親子というあまりにも近く、互いのことを分かりすぎている関係から、思春期の子供をもつ保護者の方の悩みは尽きないものです。

そこで今回は、私が学級担任をした時に、学年主任が保護者会で話した内容を紹介します。

中学生は、「大ども」「子とな」と言われ肉体的にも精神的にも大人への移行期、つまり他律から自律への転換期なので、親として日々どう対応するかを考えておられることと思います。

では、次のような状況では、皆さんはどのようにされていますか？

例えば、親子の間に「8時から勉強する」という約束があったとします。こうなると8時までは子どもの時間です。親の方ではなんとか勉強させたいという思いがあるから、最後のテレビCMの始まり(7:57)で「もう部屋に行ったら。」とひと言。ここで戦いが始まります。

「まだ3分あるし!」「何を言うか!いいから早く行きなさい!」こういうタイプを『過干渉型』と言います。

時計の針が8時(8:00)を指し腰を上げる親。「8時になったよ、そろそろ始めたら。」これに対して子どもは、「言われなくても、今やろうと思っていたよ!」とひと言。ここでも戦い。これを『干渉型』と言います。

8時になって3分経過(8:03)。この3分間という時間、親としては、「早く行かんかい!」とイライラするのですが、お茶でも飲みながらじっくりと3分間耐えます。この3分間が大事で、これを『自主性の3分間』と言うのです。そして、その後静かにひと言「もう3分経ったね。約束は?」と……。

お茶を飲み干し、さらに3分経過(8:06)。それでも、まだ子どもが動かないときは、勇気を奮い「何回言わせる気?」と約束を履行させます。こうした3分刻みをくり返していくことで、3分以内で行動する習慣が子どもの中にできてくると言われています。

ところで、こうした状況下にも何も言わず、放っておくのを『放任型』と言います。

「ここらで注意しなければ(親)」「ここらで動かないと(子ども)」が互いの雰囲気・空気で感じられる。これがしつくてあり、教育です。と!

心配だからこそ、つい先回りして「転ばぬ先の杖」(いろいろな声や、道具等)を持たせてしまいたくなりますが、いつまでも杖を用意してやることはできません。

豊かさの中にあって、欠乏や逆境体験がない今の子どもたちに、自分で解決する力を付けさせるには、子どもの自主性の芽生えを温かく見守りつつも、その自主性に対して善悪の評価を下す人が必要です。

ぜひ、その役割をご家庭とともに学校でも果たしていきたいと思います。これからも二人三脚で、どうぞ、よろしくお願いいたします。

【学年レクリエーション】

～ 5月27日(金) ～

5月27日に実施予定だった「がんばり遠足」は午前中の大雨で、残念ながら中止となりましたが、その分、学年レクで楽しみました。

各学年の様子を紹介します。

2年：ドッジボール→

↓1年：ソフトバレーボール



↑3年：男子バスケットボール 女子バレーボール

【3年オニバス講演会】～ 5月24日(火) ～

三和中では令和元年から3年生を中心に総合的な学習の時間で谷内池やオニバスについて学習しています。今年度も“まちづくりワークショップ”の取組の一つとして谷内池の環境整備活動やオニバス再生への試みを行います。その学習のスタートとして、講演会を実施しました。



<生徒の感想より>

今日の学習会では、事前に調べた情報以上にオニバスについてたくさんを知ることができよかったです。オニバスはどのように成長するか、どのようにすると発芽しやすくなるのかなど、今後、谷内池にオニバスを復活させるためにどう活動していくのか分かりやすくなりました。

また、谷内池には分布の少ない植物も多くあることを知り、活動をしていく中で、絶やしてしまわないようにしたいと思いました。今の谷内池の状態では、オニバスも咲くことが難しいと分かったので、今日教えていただいたことを参考に、どう取り組んでいくか考えていきたいです。

【1年歯肉炎予防教室】 ～ 6月9日(木) ～

1年生の各クラスで歯肉炎予防教室を開催しました。講師の先生から、歯肉炎や歯周病について、多くの写真を用いて詳しく説明していただき、生徒たちは真剣に耳を傾けて聞いていました。また、デンタルフロスが一人に一つ配られ、手鏡を見ながら、真剣に取り組みました。そして、飛沫が飛ばない歯磨きの仕方として、口を閉じて磨くこと、うがいをするときには水盤に顔を近づけて行うこと等も教えていただきました。自分の歯の健康のために、教えてもらったことを実践していきましょう。



【避難訓練】 ～ 6月9日(木) ～

今年度1回目の避難訓練は、上越消防署高士分遣所の消防士の方々から来ていただき、地震を想定して行いました。全員がグラウンドに避難完了した後、消防署長さんからは「通電火災」についてお話がありました。災害等で非難する場合はブレーカーを落としたり、電気を消したりすることの大切さについてご指導いただきました。今後の避難訓練計画に生かしていきます。また、校長先生からは、実際に災害が起こった時、次の点に注意しようとお話がありました。

① 避難訓練での学びが100%ではない!

避難訓練で教わったことが、実際の状況下では正しいとは限らないことがあります。その場の判断で、“助かる可能性が高い”と考えたのであれば、そのような行動をとることも時には必要です。

② 平常心と恐怖心の両方が存在する!

自分が大丈夫でも、周囲がパニックになっている可能性があります。精神状態は、避難訓練の時とは大きく異なります。冷静に行動したいものです。

③ 避難して終わりではない!

避難の完了はあくまで第一段階です。地震災害であれば、余震、建物などの損壊、停電や断水、液状化、津波など揺れが収まった後にも続く場合がほとんどです。助け合いながら、避難行動をとることが求められます。



実際の災害では、災害ならではの緊張感があります。当然、訓練では起きなかったトラブルが起こるはずですが、「**自分の命は自分で守る**」という強い気持ちをもって、**臨機応変**に行動することを覚えておきましょう。

【地区大会壮行式】～ 6月13日(月) ～

6月14日(火)の地区陸上競技大会を皮切りに、上越地区各種大会が開催されます。今年度も、観覧人数制限や期日をずらすなどの新型コロナウイルス感染症対策を行い、実施します。壮行式では、各部3年生が、大会への決意を力強く述べました。ベストを尽くして頑張れ！



【高校説明会】

～ 6月16日(木)・17日(金) ～

2、3年生と希望する3年生の保護者を対象に2日間実施しました。計 校の説明を聞くことができ、2年生にとっては高校への興味や関心を高める機会に、3年生にとってははいよいよ現実的な進路選択を考える機会になりました。



7月の予定

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1日(金) 通信陸上大会(～2日) | 21日(木) 専門委員会 |
| 5日(火) スクールカウンセラー訪問日 | 22日(金) 終業式 |
| 6日(水) エコライフ出前講座(1年) | 24日(日) 地区吹奏楽コンクール
(上越文化会館) |
| 8日(金) 第1回漢字検定 | 25日(月) 保護者面談① |
| 12日(火) 県大会壮行式
スクールカウンセラー訪問日 | 26日(火) 保護者面談② |
| 14日(木) マナー講習会(2年) | 27日(水) 保護者面談③ |
| 16日(土) 県総体(～18日) | 28日(木) 保護者面談④ |
| 20日(水) 生活習慣病予防教室(2年) | |

